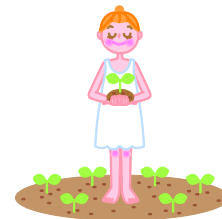


# Only one

～ 子どもの「生きる力」を育む家庭教育 ～



2020年3月

今年度のテーマは「育てる」です

発行：能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne  
Column

## 「親業 ～親子の関係再考～」

能代市社会教育指導員 佐藤 清美

親としての役割つまり【親業】を果たすことは「一人の人間を生み、養い、社会的に一人前になるまでに育てる」仕事に携わることである。

それは、人間としてこれ以上に能力と努力が必要とされるものはない、と言っているほどのものであろう（トマス・ゴードン）

グローバル化とAI化が進む未来に生きる子どもには自立心があり、協調的であり、自分の行動に責任の取れる人間であることが求められると言われています。個別化・多様化そして専門化する未来の人間社会で生きていくには、自分の意見をしっかり持ちつつ、他者の意見も認め、決断したことに責任を持つことが不可欠のようです。

こうした力を子どもにつけるために親はどうすればよいか、何ができるのか……。

何か(能力・技能・資質等)を身につけるには、経験(練習、鍛錬、試練)を積むことが必要であることは周知の事実です。いかに必要とする経験をさせるかが親業の核心だと考えます。

一つの例として、自己責任の力を育てる「わたしメッセージ」を紹介します。

子どもが親のすねを蹴ったとする。その時親が送る次の二つのメッセージが子どもに引き起こす反応は大きく違います。

①「イターイ、あーあ、痛かった、蹴られるのはいやだなあ」

②「悪い子ね、そんなふうになんか蹴ったらだめじゃないの」

①は単に蹴られるとあなたがどう感じるかを述べただけ。

②は子どもは「悪い子」でそういうことを繰り返さないようにと警告している。

実際のところ、②の反応が多いようですが、①のわたしメッセージは子どもの行動を変えていくのを子ども自身の責任で行わせることになります。(誰も指示や警告をしないので、自分で考え、行動することになります)つまり、①のメッセージは、自分の行動に責任を持つことを経験させていることになっているのです。

このような経験を数多く積むことを通して、子どもは自己決定・自己責任ということを知り、資質としてその身に蓄積し、強化して確かなものとしていきます。

自立心や協調性も同じだと考えます。意図的に場を用意することが大事になります。

一方で、親はいつでも子どものモデルとして、自分の価値観や心情を、口で言うよりもはっきりと行動で示しているという事実を自覚する必要があります。子どもは親の行動を目で見て、言うことを耳で聞きながら親の価値観を学んでいるのです。

つまり、親は自分の人生を生き、生活することで、様々な価値感を示し、教えているということになります。どのように生き、どのようなモデルを示すのか……。身の引き締まる思いですが、努力を続けた先には、新しい世界が開け、喜びを感じるものだ、ということを感じて、親業に取り組んでいきたいものです。





## おすすめの1冊

能代市立図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。



### 『0～5歳 子どもの味覚の育て方』 / とけいじ 千絵 (日東書院)

味覚の大半は、学習によって獲得されるそうです。塩味や甘味だけでなく、いろいろな味のおいしさを知ることによって、子どもの味覚は大人の味覚へと育っていきます。この本では、大人の食事と一緒に作る「取り分け方式」で、子どもの苦手な味を克服していきけるレシピを紹介しています。みんなで「味」を楽しみながら、食卓を囲んでみてはいかがでしょうか。



## データでみる家庭教育

子育てや家庭教育に関するデータを取りあげます。「今」がわかり、子育てのヒントになるかも？



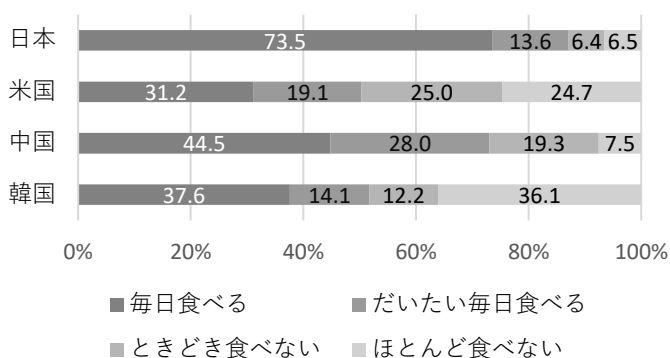
これは日本・アメリカ・中国・韓国4か国の高校生を対象にした食事に関する比較調査です。

図1はふだん、朝食を食べているか、という調査の結果を示しています。日本の高校生の7割強は、朝ごはんを「毎日食べる」と回答しており、アメリカ・中国・韓国の3か国を大きく上回っています。

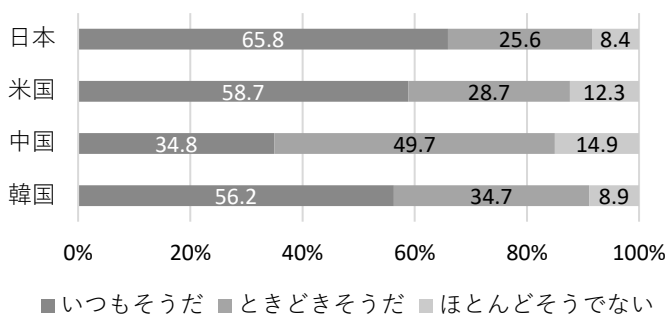
図2は家族と一緒に食事をするとき、会話をどの程度しているかの調査です。日本の高校生は「いつも会話をしている」の割合が6割強となっており、4か国の中で最も高くなっています。

子どもにとって食事は、成長に大きな影響を与えます。また、親子の大切なコミュニケーションの場でもあります。規則正しい食生活を心がけながら、食事を楽しみましょう。

### 図1 ふだん、朝食を食べているか



### 図2 家族と一緒に食事をするときには、会話をしている



国立青少年教育振興機構「高校生の心と体の健康に関する意識調査 -日本・米国・中国・韓国の比較-

### 困ったときには…

子育てで困ったときや、相談したいことがあるとき、下記の相談先へぜひご連絡ください。親身になってお答えいたします。

能代市子育て支援課 家庭児童相談 TEL89-2955

めんchocoてらす TEL89-2948

能代市子育て支援センター TEL 能代：52-8115 / ニツ井：73-3111

能代市教育相談（風の子電話）TEL89-1616

乳児は 肌を はなすな  
幼児は 手を はなすな  
少年は 目を はなすな  
青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。

能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 〒018-3192 能代市ニツ井町字上台1-1

TEL:0185-73-5285 / FAX:0185-73-6459 / E-mail:shou-supu@city.noshiro.lg.jp